

ハチちゃん通信

vol.22
発行 平成23年12月
仙台市縄文の森広場



2011 初冬の縄文の森だより



縄文の森広場は…
約4000年前の縄文時代中期に集落が営まれていた山田上ノ台遺跡を保存し、活用する施設です。当時の様子を復元した展示をぜひ楽しんでいただきながら、いろいろな縄文体験に挑戦できます。

開館時間
9:00~16:45(入館は16:15まで)

- 休館日**
- 月曜日(休日にあたる日は除く)
 - 休日の翌日(休日または土・日曜日にあたる日を除く)
 - 毎月第4木曜日(休日及び12月を除く)
 - 年末年始(12月28日~1月4日)

入館料(展示室のみ)

区分	個人	団体 (30名以上)	地底の森M 共通券
一般	200円	160円	450円
高校生	150円	120円	250円
小中学生	100円	80円	150円

- 当館は「どこでもバスポート」対象施設です。
- 当館は「地底の森ミュージアム」の分館にあたります。お得な共通入場券もございます。

体験活動メニュー一覧

活動名	所要時間	費用
縄文土器づくり(大)	120分~	400円
縄文土器づくり(小)	60分~	200円
土偶づくり(大)	60分~	200円
土偶づくり(小)	30分~	100円
手形・足形づくり	30分~	100円
土笛・土面づくり	30分~	100円
勾玉づくり	90分~	200円
石のアクセサリーづくり	60分~	100円
石器づくり(5年生以上対象)	60分~	100円
火おこし	30分~	100円
縄布づくり(コースター)	60分~	100円
縄文土器づくり(特大)	180分~	800円
縄布づくり(マット)	180分~	300円
釣針づくり	120分~	300円
サメの歯アクセサリーづくり	90分~	200円
鹿の角アクセサリーづくり	90分~	200円

体験活動を10名以上でご希望の場合は事前申し込みが必要です。10名以上のお客様は 色のメニューの体験申込はできません。

来館のご案内

- 【バス】県庁市役所~仙台駅~長町駅より宮城交通バス「南ニュータウン」「日本平」「秋保」「茂庭台」行きにて「山田・太白消防署前」下車 徒歩5分
- 【車】東京方面から→東北自動車道:仙台南インターから約4km
石巻・岩沼方面から→仙台南側有料道路:山田インターから約1km



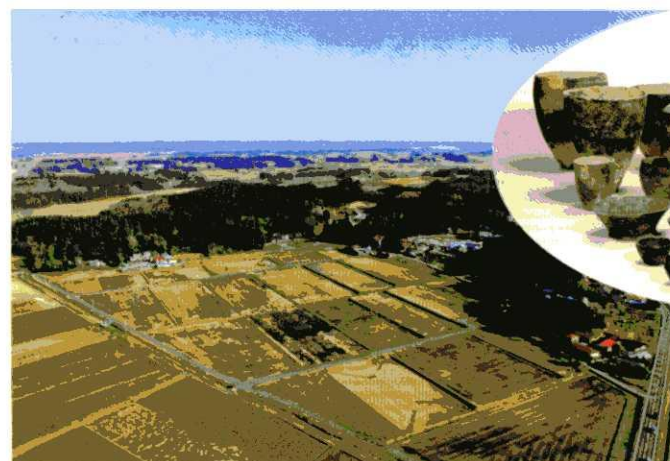
じょうもんのもりひろば
仙台市縄文の森広場
財団法人 仙台市市民文化事業団

〒982-0815仙台市太白区山田上ノ台町10番1号
電話:022(307)5665 FAX:022(743)6771
E-mail:j-hiroba@cap.ocn.ne.jp
http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyoumon/



開館
5周年
記念

縄文人のなりわい —北小松遺跡からのメッセージ



期間 平成24年1月20日(金)~3月18日(日)
会場 展示室企画展コーナー

(一部を展示します) (写真提供 宮城県教育庁文化財保護課)

近年の発掘調査で、大きな湖沼のそばで暮っていた北小松遺跡(大崎市)の縄文人の暮らしが明らかになりつつあり注目されています。縄文時代の終わりころ(約2600年前)にはムラは最盛期を迎えたようです。そのなりわい(生業)のようすを出土品の中から紹介します。

11月 縄文秋まつり



弓張り法で火をつけよう!



縄文人になりきり中★



もちつき体験



工作体験
木の実のプレスレット

11月3日、秋晴れの中今年も縄文秋まつりを開催しました!



宝さがし大会

土偶や土器のお宝はどこ?

ゲーム大会や縄文スープにどんぐりコーヒーの試食体験など今年もたくさんの方のみなさんに楽しんでいただきました。ご来場いただいたみなさんありがとうございました!

秋のjomonイベントニュース

9月~11月 土器づくり本格コース 10月 秋休み特別イベント



みなさんの作品☆
さすがです!!



土器を焼いている様子

粘土づくりから野焼きまで、縄文時代の人々と同じように土器づくりの一連の流れを体験し、当時の技と知恵を学ぶ講座です。

山田上ノ台遺跡から出土した土器をモデルに、全3回の連続講座で、毎回5時間を超える作業に取り組むところが本格たる所以。じっくり取り組んだ作品はホンモノの縄文土器と見まがうようでした。



縄をコロコロ転がして♪



みんなで挑戦!



どんぐり人形できあがり

木の実ビーズ付きの「管玉のプレスレット」、ヒモ作りから始まる「どんぐり人形」、模様付けが楽しい「土器形着おき」の3つのメニューを日替わりで開催♪ どれも大好評でした♪

1~3月のイベントお知らせ

1月・2月 縄文講座 13:30~15:00

1.22 「縄文人の心と形」

講師 小杉 康氏(北海道大学大学院教授)

2.19 「縄文時代の自然災害」

講師 相原淳一氏(東北歴史博物館上原主任研究員)

今年は「縄文学最前線」と題して、各分野の第一人者の方を講師にお招きし、分かりやすくお話をさせていただきます。

2月

縄文ふゆのコンサート 13:00~15:00

2.4 「音でたのしむ 冬のじょうもん」

寒さ厳しい冬のひと時、縄文の雰囲気(ゆた)に身を委ねながら、素晴らしい音楽を楽しんでいただくのが「縄文ふゆのコンサート」です。2月4日(土)13時より15時まで、縄文の森広場施設内にて開催します。どうぞお楽しみに。

昨年度の様子



1月・3月

おもしろ縄文体験 10:00~14:00

1.14 「編布のポケットティッシュカバーづくり」

縄文人が作った布の編み方でポケットティッシュカバーをつくってみよう!

3.17 「滑石アクセサリーをつくろう!」

勾玉の材料にもなっている滑石をけずって、縄文の文様を入れてアクセサリーにしよう!



こちらのイベントは事前申込が必要です。詳しくはHPや「イベントのごあんない」をみてね!!

どちらも事前の予約は必要ありません。直接ご来館ください。

1月~3月 限定

千支の土製品プレゼント

辰年生まれの方もしくは1月~3月に2回来館された方に、当館オリジナルの辰の土製品をプレゼント! 職員とボランティアによる様々な辰が、あなたを待っています☆数に限りがありますので、ぜひお早めに!!



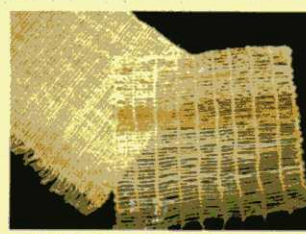
たいたいま 製作中!!

ハナレタ ぷらす 4

~日々のようすをHPでつづる「ハナちゃんレター」に「ぷらす」してお届けするコラム~

編布とは?

編布(アングイン)は縄文時代から作られており、日本最古の布ともいわれています。その編み目はスダレと同じで、タテ糸が縄のようになっているのが特徴。作り方は1本のヨコ糸を2本のタテ糸でからませることを繰り返し布状にしたもので、それを敷物や服として使っていたようです。たとえば、底に編布の跡が付いていた土器が発見されたことから、土器を作る時に敷物として使われていたことがわかっています。



編布のコースター(当館ボランティア製作)